

施策 60

基本施策 3 都市基盤の保全・整備

下水道施設の機能保全

めざす姿 (施策の目的)

下水道施設が老朽化対策や地震対策等の計画的な取組により適切に維持管理されるとともに、下水道に流入する雨水の抑制対策により、浸水の軽減や河川の水環境の保全が図られており、市民の衛生的で快適かつ安全な生活環境が確保されています。

現状と課題

市内の下水道管は、令和7年(2025年)3月末現在で約767kmが整備されており、標準耐用年数とされる50年を超える下水道管は、そのうち約22パーセントに当たる約172kmあります。これまで、計画的に調査を実施した上で清掃や補修工事などの適切な維持管理を行ってきていますが、今後は標準耐用年数を経過する下水道管が増加するため、老朽化した下水道管の破損等によって市民生活が影響を受けるリスクが高まりつつあり、維持管理に要する費用も増大していくことから、計画的かつ継続的に老朽化対策や地震対策に取り組むことが必要です。また、これらの実施に伴い、地方公営企業としてより一層の健全な財政運営に努めることや、激甚化、頻発化する豪雨等への浸水対策などについても対応することが求められています。

施策の方向性

- 下水道管の破損等による下水排除機能の停止や道路陥没事故の発生などを未然に防ぐため、施設の点検・調査を行い、必要に応じた補修工事を実施するとともに、優先順位が高いところから計画的に老朽化対策工事や耐震化工事を実施します。
- 下水道管への雨水流入抑制対策を行うため、住宅等の建築時に市民や事業者に対し、雨水浸透施設等の設置について協力を求めます。



下水道管調査の様子



下水道管更生工事の様子

指標

指標名	基準値	目標値 (R11)	指標の説明
経常収支比率	106.73% (R6)	100%以上を維持	料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表します。数値が高いほど財政的に安定していることを示し、一般的に適正な水準とされる100%以上を維持します。
下水道管延長における老朽化対策工事の実施割合	0.1% (R6)	0.4%	下水道管延長のうち、各年度に老朽化対策工事を行う割合です。
雨水浸透ますの新規設置個数	3,579個 (R3~6平均)	基準値以上 (R8~11平均)	新規に設置した雨水浸透ますの直近4年間の平均個数です。

主要な取組

取組名称	令和8年度から11年度までの取組内容
下水道事業の健全な経営	府中市下水道事業経営戦略に基づき、ライフサイクルコスト*に配慮して下水道財政の財政基盤を強化し、財政の健全性が保たれるよう経営に取り組みます。
下水道維持管理	下水道施設等の詳細な調査を実施した上で、清掃や補修工事などを行います。一戸建ての住宅等を建築する場合は、雨水浸透施設等の設置について、市民や事業者等に協力を求めます。
下水道老朽化対策	府中市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道管の点検体制を強化し、老朽化が進んだ下水道管の更生工事、布設替え及び修繕を計画的に実施します。
下水道地震対策	府中市下水道総合地震対策計画に基づき、避難所等重要度の高い施設と緊急輸送路にあるマンホールの耐震化工事を実施します。

協働により推進したい取組

- ▶ 下水道管の詰まりや悪臭の原因となる油の流出抑制や、雨水浸透施設等の設置に関すること。